

日本メンタライゼーション研究会第5回学術集会
一般演題の募集のご案内

第5回学術集会の一般演題を募集いたします。学術集会を盛り上げていただき、ふらつてご応募ください。一般演題への応募は会員のみとなります(連名の方は非会員でも可です)。応募をご希望の方で、まだ会員になっておられない方は入会申請を先にしていただき、会員に承認された後に、一般演題へのご応募をお願い申し上げます。

大会日時 2026年2月21日(土)、22日(日)(全て対面)
一般演題の発表は2月21日の午後に予定されています。

一般演題の趣旨と形式

趣旨：一般演題は、単独で特定のテーマについて発表するものです。例えば、MBT(メンタライゼーションに基づく療法)の実践、メンタライジングを活用した様々な現場での臨床実践、多職種で協働しての取り組み、あるいはメンタライジングに関する実証的研究など、メンタライジングの臨床や研究に関する様々な取り組みを幅広く取り扱います。

審査：演題の採否は審査を経て決定します。一つの主張をもち、研究発表として方法や考察が適切になされているか、また特に症例においては倫理面に配慮して抄録が作成されているかが審査のポイントとなります。

時間枠：発表20分、質疑応答20分(いくつかの発表をまとめて一つの会を構成します)

形式：対面形式で行います。発表資料は各自でご用意ください。

申し込み方法

①一般演題申し込み様式に必要事項を記入してください。

②抄録を手引きに沿って作成してください。

(審査後、そのまま印刷され抄録集に掲載されます)

③送付先：日本メンタライゼーション研究会運営委員会 (mentalization.office@gmail.com)

宛てに、上記のファイルをメールに添付してご提出ください。

メールのタイトルは、「【一般演題申し込み】〇〇〇〇(氏名)」のようにご記入ください。なお、締め切りは2025年11月30日です。

日本メンタライゼーション研究会運営委員会